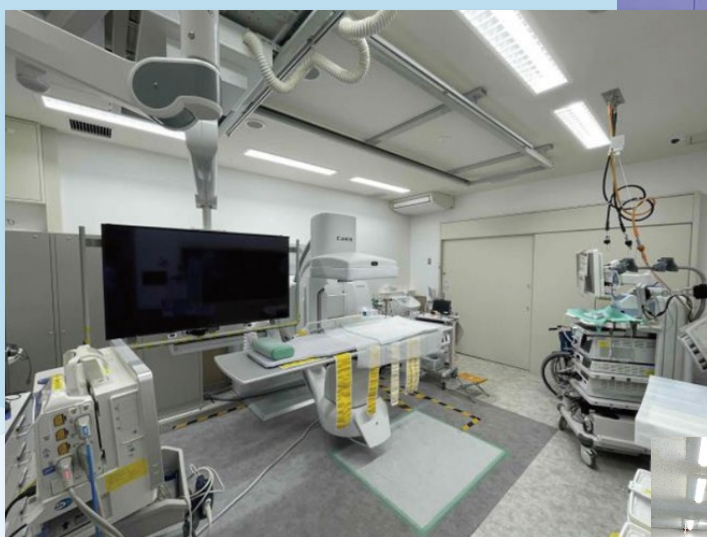


患者総合支援センターたより

【発行】患者支援課 TEL:06-6645-2857

特集 消化器内科

幅広い消化器疾患の診断と治療



2024年9月 地下1階 内視鏡センターが
リニューアルオープンいたしました。

消化器内科の取り組みをPICK UP！

化学療法チームでは、消化管・胆膵領域の検査・治療や悪性腫瘍に対する薬物療法(殺細胞性抗がん薬から分子標的薬・免疫チェックポイント阻害薬まで)を行っています。

- ▶ **消化管がん** 食道癌、胃癌、小腸癌、大腸癌
消化管神経内分泌腫瘍・癌、消化管間質腫瘍
- ▶ **膵・胆道がん**

機能内視鏡チームでは、特に食道症状(つかえ感、非心臓性胸痛、胸やけ、逆流感、げっぷ等)を有する症例に対して専門的な検査を行い、治療適応のある症例に対しては下記の治療を行っています。

▶ 食道アカラシアに対する

内視鏡下筋層切開術(POEM)

▶ 難治性胃食道逆流症(GERD)に対する

内視鏡的逆流防止粘膜切除術(ARMS、ARM-Pなど)

胆膵チームでは、内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡(EUS)を用いて、下記疾患の診断や治療を行っています。また、膵癌を早期発見するための取り組みも行っています。

- ▶ **膵臓疾患** 膵腫瘍、慢性膵炎など
- ▶ **胆道疾患** 胆道腫瘍、胆道感染症、胆道狭窄など
- ▶ **十二指腸疾患** 十二指腸乳頭部腫瘍など
- ▶ **消化管粘膜下腫瘍(SMT)** GISTなど

消化管内視鏡治療チームでは、主に早期の消化管癌(腫瘍を含む)に対する診断や内視鏡的切除治療を行っています。

- ▶ **早期癌(咽喉頭、食道、胃、十二指腸、大腸・直腸)**に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、内視鏡的粘膜切除術(EMR)など

当科では消化管腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)、胆膵疾患に対する内視鏡的逆行性胆道膵管造影(ERCP)や超音波内視鏡(EUS)(Interventional EUSを含む)、進行がんに対する化学療法などの診療を積極的に行っています。また、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患については、従来からの治療に加えて免疫抑制剤や生物学的製剤を用いた治療を行い、全国でも屈指の症例数を有しています。小腸疾患に対しては、ダブルバルーン内視鏡やカプセル内視鏡を用いて診療しています。さらに、食道運動機能異常、逆流性食道炎を含む胃食道逆流症(GERD)、好酸球性消化管疾患、機能性消化管疾患、慢性便秘症などに対しても診療実績が豊富であり、高解像度食道内圧測定、24時間食道内多チャンネルインピーダンス・pH測定検査、排便機能検査などによる専門的な診断や治療が可能です。

患者さまに最適な治療を提供できるよう尽力いたします。
診断に迷われる場合など、どうぞお気軽にご相談ください。



主な内視鏡処置件数(2023年度)

上部消化管内視鏡検査	4471
ESD・上部EMR	344
胃食道静脈瘤治療	91
ERCP・EST	480
下部消化管内視鏡検査	1145
小腸バルーン内視鏡検査	190
小腸・大腸カプセル内視鏡検査	57
EUS・FNA	708
上部・下部バルーン拡張術	241
大腸ポリペクトミー・EMR	444
POEM(内視鏡的筋層切開術)	61

外来担当表(2024年12月現在)

月	火	水	木	金
大谷 恒史 上部消化管 小腸 腸内細菌 初診/再診 午前	田中 史生 上部消化管 機能性消化管疾患 初診/再診 午前	田中 史生 上部消化管 機能性消化管疾患 初診/再診 午前	福永 周生 内視鏡 大腸腫瘍 初診/再診 午前	藤原 靖弘 消化管全般 初診/再診 午前
西田 裕 下部消化管 炎症性腸疾患 初診/再診 午前	細見 周平 下部消化管 炎症性腸疾患 初診/再診 午前	細見 周平 下部消化管 炎症性腸疾患 初/再 午前/午後	東森 啓 上部消化管 小腸 腸内細菌 初診/再診 午前	大南 雅揮 上部消化管 内視鏡 食道アカラシア 初診/再診 午前
垣谷 有紀 胆膵 内視鏡 初診/再診 午前	丸山 紘嗣 胆膵 内視鏡 初診/再診 午前	大谷 恒史 上部消化管 小腸 初診/再診 午前	沢田 明也 消化器全般 初診/再診 午前	田上 光治郎 胆膵 内視鏡 初診/再診 午前
中田 晃暢 癌化学療法 消化器全般 初診/再診 午前	河野 光泰 上部消化管 内視鏡 初/再 午前/午後	中田 晃暢 癌化学療法 上部消化管 初診/再診 午前	中田 理恵子 下部消化管 炎症性腸疾患 初診/再診 午前	小林 由美恵 下部消化管 炎症性腸疾患 初診/再診 午前
			福永 周生 内視鏡 大腸腫瘍 再診のみ 午後	

●地域医療連絡室

FAX:06-6646-6215

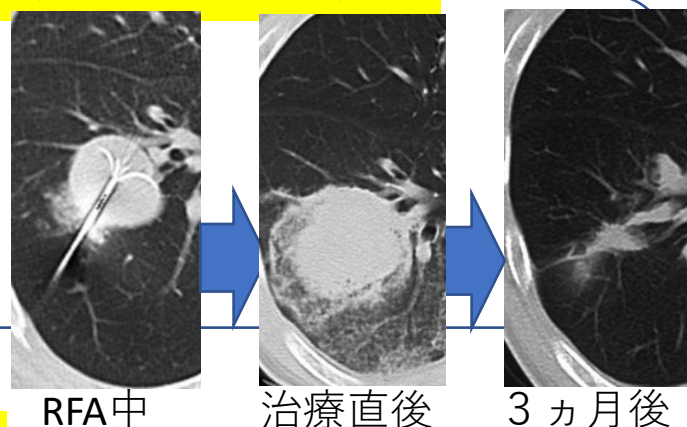


放射線科

放射線科ではカテーテルや穿刺針を用いた
低侵襲治療を**IVRセンター**にて行っています
今力を入れている治療3つ

肺癌、腎癌、骨転移に対するRFA（ラジオ波治療）

当科では2000年からこれらの治療を行っていますが、2022年9月に保険収載されました。ラジオ波は細い針で腫瘍を焼灼する治療です。根治を目指す局所治療だけでなく、疼痛緩和としても有効です。



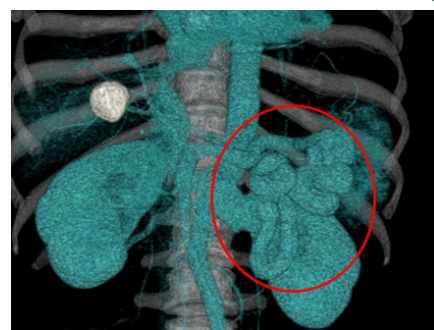
RFA中

治療直後

3ヵ月後

難治性肝性脳症に対する塞栓術

肝硬変に伴う肝性脳症は近年リフキシマなど内服治療の発展がありましたが、それでも大きな門脈大循環短絡がある場合、ときに難治性になります。当科では短絡の塞栓ないし減流を行う事により高アンモニア血症を改善させる治療を行っています。当治療の症例数は日本有数になります。難治性脳症や難治性脳症には至っていない高アンモニア血症でも治療を行う事があります。



大きな脾腎短絡症例

下肢静脈瘤に対するRFA(ラジオ波治療) や硬化療法

下肢静脈瘤はふくらはぎのだるさや痛み、足のむくみ、湿疹や色素沈着などの皮膚炎をおこす事があります。適切な治療を行えば症状は劇的に改善します。保険適応の治療です。



治療前

治療後

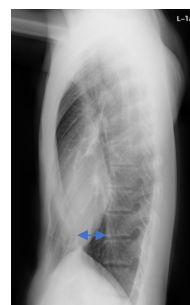
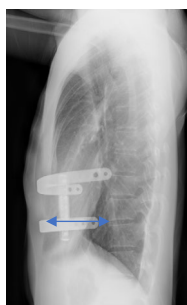
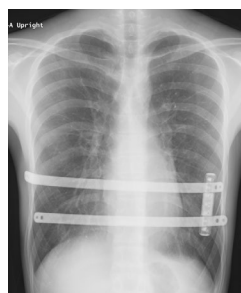
いずれの疾患も他診療科との密な連携を行い、安全で確実な治療を提供します。
適応がご不明な場合でも、まずは**放射線科外来までご紹介**ください。

漏斗胸外来開設

令和5年6月より、漏斗胸外来を開設いたしました。
毎週水曜午後から小児外科中岡が担当しております。

月曜、火曜の外来でも漏斗胸の診察は可能ですが、対応する時間が短くなる可能性があります。

専門は小児外科ですが、成人の方でも可能な限り対応いたします。①鳩胸、②術後再陥凹、③脊柱側弯合併例、など非典型例にも対応いたします。



漏斗胸の治療スケジュール

手術2日前あるいは前日に入院



手術後1週間で退院



外来受診は3か月から半年に1回



初回手術の2年後にバー抜去手術（2泊3日）

次回予告



★ 診療科紹介（予定） ★ 当院の診療科をご紹介します。

耳鼻いんこう科

循環器内科

Face to Faceの会 ご案内

今回は 令和7年3月15日（土）に開催します。

詳細については決定次第センターによりにてご案内いたします。

地域医療連絡室

月曜日～金曜日 9:00 ～19:00

電話：06-6645-2877

FAX：06-6646-6215

URL：[https://www.hosp.omu.ac.jp/
health_professionals/area/area.html](https://www.hosp.omu.ac.jp/health_professionals/area/area.html)

ご予約方法

『診察予約申込書（診療情報提供書）』をご作成のうえ、
FAXにてお申し込みください。

医療連携登録医の方はWeb予約も可能です。

詳しくは、当院の地域医療連絡室のHPをご覧ください。

緊急性や専門医への内容確認の必要性を判断するため、

診察予約申込書の「症状経過及び検査結果」記入欄や

別添していただく診療情報提供書はできる限り

詳しくご記載いただきますようよろしくお願いいたします。

また、検査データなどがある場合は、一緒にFAXください。



〒545-8586

大阪府大阪市阿倍野区旭町1-5-7

大阪公立大学医学部附属病院

TEL : 06-6645-2121 (代表)

TEL : 06-6645-2857 (患者支援課)

初診受付時間 : 8 : 45 ~ 10 : 30

休診日 : 土曜日・日曜日・祝日・12/29~1/3

送り先の変更・データでの提供依頼等ございましたらお問い合わせください。